

## 令和5年度第2回釜石市スポーツ推進審議会 開催結果

1.開催日時 令和6年3月5日(火) 18:00~19:30

2.会 場 青葉ビル1・2研修室

3.出席委員 7名

小 泉 嘉 明 会 長      三 浦 康 男 委 員      小 笠 原 加 代 子 委 員  
寺 田 恵 美 子 委 員      佐 々 木 ひ づ る 委 員      青 木 裕 信 委 員  
千 田 有 美 委

4.欠席委員 3名

下 村 恵 壽 委 員      佐 藤 千 依 委 員      齋 藤 雅 彦 委 員      員

5.事務局 5名

臼 澤 渉 文化スポーツ部長      佐々木 利 光 スポーツ推進課長  
山 崎 強 スポーツ推進課主幹      藤 原 豊 樹 スポーツ推進課長補佐  
植 田 真 治 スポーツ推進課主任

6.傍 聴 者 (株)日刊岩手建設工業新聞社 (株)岩手日報社

7.経 過

### (1) 開 会 <事務局>

佐々木課長より当会議の委員10名中7名の出席しており定足数を満たしていることを告げ、会議の開会を宣言しました。

### (2) あいさつ <文化スポーツ部長>

今日はお忙しい中お集まりいただき、日頃よりスポーツの振興にご支援いただきありがとうございます。1月に発生した能登半島地震より3ヶ月経過しましたが、改めて被災された皆様にお見舞い申し上げます。

震災における市の対応として、七尾市他3市町の被災地への支援金を送りまし、飲料水などの支援物資を既に送っております。また、県と協力して能登町が集中的に支援するパートナーとなっていることから、当市職員を2回派遣しております。今後も県と調整しながら、支援を続けて参ります。

さて、中学校部活動の休日地域移行についてですが、現在教育委員会と色々と議論を進めており次年度から一部競技の地域移行や、部活動の合同練習など様々な取り組みを行うべく調整をしております。移行においても様々な課題が山積しておりますが、解決しながら取り組んでまいります。

本日の審議内容ですが、お手元の資料にありますように、令和5年度の事業報告と今後のスポーツ施設整備の方針について、前回皆様よりご意見を頂戴いたしました意見を基に、基本的方向性(案)を纏めさせていただきましたので、忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますのでよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、引き続き皆様のスポーツ振興にかかるご支援をお願いしまして挨拶に返させていただきます。本日はよろしくお願いたします。

### (3) 委員紹介 <事務局>

名簿順で出席委員を紹介。

### (4) 議長選出 <事務局>

早速議事進行に入りますが、議事の進行につきましては、審議会条例第5条の規定によりまして会長が議長となりますので、会長であります小泉先生に一言ご挨拶を頂いた後に進行をお願いいたします。

## (5) 議長挨拶

前回の会議でも施設の整備について色々意見が出ましたが、スポーツ施設の振興だけではなくスポーツを通じたまちづくり、そして健全な心と体を持った仕組みで釜石を盛り上げていく中で、昨年はラグビーを通じた交流として、岩手釜石ラグビーチームを構成し、フランスで開催されたアマチュアラグビー世界大会参加や、姉妹都市のフランスのデュニ・レ・バン市への中学生派遣事業を成功に終えることができました。

報告会では派遣された児童が生き生きと報告しているのが立派でした。このような雰囲気欲しい。そうでなければ町そのものが伸びていきません。少子化の問題もあるが、子供を増える土壌を作っていく仕組みづくりも必要と感じております。

団塊の世代が今後少なくなっていく時にどのような世の中になっていくのか。地方は顕著に影響が生じてくると思われませんが、首都圏も大きな課題となっております。このように少子高齢化についても大きな課題と捉えつつ、具体的な取り組みに至っていない現状があります。

先日、釜石体育賞の授賞式がありましたが、小学1年生が5名ほど受賞し、会場も盛り上がりました。このように児童の活力が大人にいい影響を与え明るくなると考えます。これもスポーツを通じた環境づくりが大切と感じております。

本日は、今年度の事業報告と、スポーツ施設の整備についての協議となっておりますが、委員皆さんの忌憚りの無いご意見等を出していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

---

引き続き、議長の進行で議事に入る。

## (6) 報告 <事務局>

報告事項「令和5年度の事業報告」について資料に基づき説明し、質疑に入りました。

## (7) 報告に関する質疑・意見

委員：トライアスロンはコロナの影響もありここ数年実施されてはいないが、今後どうなるのか。

事務局：トライアスロン協会としては、次年度開催する予定で進んでいるみたいです。開催にかかる当市からの補助金については、3月議会での予算委員会を経なければなりませんが開催補助金を新年度予算で要求をしております。

委員：コロナ禍の割には、一定の事業を遂行できたのではないかと。

事務局：昨年5類に移行したことに伴い、注意を払いながら開催することが出来ました。

委員：仙人マラソンは盛岡シティマラソンと開催は重複しなかったのか。

事務局：一週ずれて開催しております。

委員：ランナーは年間スケジュールを組み立て参加しているみたいですが、1週ずれても、リカバリーができず参加を見送っている方もいると聞いたことがあります。

知り合いのランナーからの意見で仙人マラソンは紅葉の時期に合わせての開催とのことで一週前に盛岡シティマラソンが開催されます。その通りフルマラソンの後の仙人マラソンだと身体的にきついで、盛岡シティーのフルマラソンを目標に、その一週前に仙人マラソンを開催してもらえれば、そこで身体を慣らすことができるので、日程を変更してもらえればとの意見もありました。

事務局：今回より、開催周知や申し込みをこれまでの窓口受付の他に、RUNNET（ランネット）を活用しWEB上で申し込めるように全国発信をしたものです。結果、WEBでのエントリーも多く、反響もあったことから、次回開催も引き続き取り組む予定としています。開催時期については、主催の市体育教会と開催に向けた意見として参考とさせていただきます。

委員：公民館対抗ニュースポーツ交流大会について、次年度は参加者を児童も加えたいとの説明がありましたが、いい取り組みと思えます、具体的には小学低学年なのか高学年なのかどのように想定していますか。

事務局：どのように募るのか、年齢制限をどのようにするのか、ある程度絞らないといけないと感じており、関係する子ども課のサポートを受けながら取り組みたいと考えています。

(その他、質疑等無く令和5年度事業について承認されました。)

#### (8) 協議 <事務局>

協議事項「スポーツ施設の整備について」を議題として提示し、説明の後に質疑に入りました。スポーツ施設の整備については、令和5年度第1回スポーツ推進審議会での委員からの意見を取りまとめ、方向性(案)の資料に基づき説明しました。

#### (9) 協議に関する質疑・意見

委員：スポーツ施設の整備に関しては、前回第1回目の審議会でも、私たち委員の意見を集約したものと資料であると判断できます。

事務局：テニスコート・陸上競技場共に震災前にはあった施設ですが、復興事業等により無くなってしまいました。再整備を望む声を理解しつつも、現状の財政状況や人口動態を踏まえ、既存施設の修繕等の管理もままならないのに、近々に新規施設を整備しなければいけないものか内部で議論はしました。

その上で、委員皆様からの意見を組み合わせ、別紙資料のような方向性(案)を示させていただきます。

委員：優先度を考慮して整備することはその通りと感じますが、テニスコートと陸上競技場を一緒に整備できればいいのですが、予算の問題もあるでしょうし、この審議会の場で新規施設整備の優先度を決定することを求められるものですか。

事務局：そこまで踏み込んだものではなく、大枠として既存施設の修繕整備と新規施設整備についてどちらを優先的に取り組むべきか委員皆様のご意見をお聞きしたいものです。昨年1回目の審議会でのご意見では、財源の確保や人口減少の問題により、まずは既存施設の修繕維持管理に努めることが優先ではとのご意見があった中で、別紙のような方向性を組み立て、改めて委員皆様のご意見をいただければと思います。

委員：釜石高校では、陸上部、テニス部ともに活動はしております。

陸上部は、平日は校庭で練習しており休日は宮古市の陸上競技場で専門的な練習に出向いています。

テニス部については校内のコートで練習しており、地区大会は、釜石気仙地区の括りになっており、大船渡市のコートで大会が開催されております。

釜高陸上部が宮古市陸上競技場で練習する場合の移動は、保護者が送迎することもあります。予算により教員が生徒引率の業務の一環として送迎しております。これも部員数が少ないので出来ることであり、大人数の部員数の場合は別途バスを借り上げるようになりますが、そこ迄学校として予算化はできませんし、保護者への負担となりますが、そこまでして移動をかけて練習するか等の課題は生じてきます。

委員：第1回目の審議会において、中体連より高校のテニスコートが利用できなかった旨の意見がありましたが、やはり高校行事が優先になり、例えば中総体開催日に通常通学であったり他の部活動が行われる際に、中体連に貸し出しし、そこに保護者の車両が入ったり安全管理などの課題もある。今後毎年の中体連より利用申請がある場合は、釜石高校・商工高校の年間スケジュールが決まり、その空いてるところで中体連からの申請があれば極力お貸しできるよう融通は利くが、ある程度決められた日程で申請されると高校行事度重なった場合はお貸しできることが難しいことをご理解下さい。

委員：小学校の陸上記録会は遠野市の陸上競技場の土トラックで実施していますが、全国大会まで繋がっている通信陸上記録会は、次年度遠野市・釜石市・大船渡市夫々が宮古市陸上競技場を会場で実施することとなっています。陸上競技場を有する遠野市でさえ、宮古市での大会を予定しています。

委員：高校の部活動の現状ですが、生徒数減少により部活も他校との合同部活動が当たり前となってきました。高校野球ですと沿岸地区ブロック地区予選では陸前高田市から岩泉町を含む宮古市までが範囲となっており岩泉町から陸前高田中間片道200kmまでの移動区間での地区予選となってしまっております。陸前高田市と宮古市の連合チームでの試合となりますと、地区予選にも関わらず移動が負担となる大会となっております。

委員：この方向性（案）資料に基づき市の方針となりますか。

事務局：資料はあくまでもスポーツ推進審議会の委員皆さんの意見とし、この意見を参考材料として改めて市の方針を決めることとなります。

委員：新たな市長になったことにより市の方針が定まったものですか。

事務局：昨年11月に市長が就任しその後に本市スポーツ施設の現状は報告済みではありますが方向性はまだ定めておりませんし、今後本日の意見について再度市長報告する予定としております。

委員：既存施設の修繕整備順位はありますか。

事務局：優先度順位及び理由ですが、まずは釜石球技場ですが、整備より10年経過し、人工芝の劣化が著しく今後利用者の安全を考慮する上で、早期の人工芝張り替えが必要と考えております。

次に、ナイター照明のLED化です。市内ナイター施設は全て水銀灯となっており、既に水銀灯の生産が終了し現在は在庫品のみで対応となっており、今後在庫品が無くなることや、安定した光度の提供や費用面を考慮しLED化を進めたいものです。

次に、市営プールですが、設置後50年を経過し全体的に老朽化が著しいものですが、とりあえず水銀灯照明のLED化をはかり、その他にも細かい修繕が必要となっておりますが、全体的な修繕の洗い出しを今後進める予定としております。

これらの既存施設の修繕を図った後に、新規施設として、テニスマ場及び陸上競技場の建設に向け検討を進めることを想定しています。

また、第1回の委員会において、新規施設整備は既存の学校施設をリニューアルする手法もあるのではとの意見も頂戴しており、新規施設整備を進める際にはその手法も含め検討したいと思っております。

委員：今後人口減少が進み、並行して市内学校の統廃合も生じてくると思います。その時の情勢に合わせて廃校になった施設を活用し新たなスポーツ施設の整備を検討してもいいのではと思います。

事務局：第6次総合計画では市内の人口の想定をしていますが、想定以上に人口の減少が進んできている中で、委員皆様より意見があったように、5年10年先の釜石を見据えた施設整備が必要と感じています。とは言え、スポーツをしている市民の気持ちを汲み取りながら進めなければとは思っています。

委員：表現の問題かと思いますが、別紙方向性（案）の資料に道路網の整備による広域化も検討するとう文面も加えてはいかがでしょうか。

事務局：ご意見の頂いた通り、広域化にも追記することで委員の意見とさせていただきます。

議長：皆さんから色々な意見が出ましたが、施設利用においては広域化も含めて、スポーツ推進審議会としては、資料の通り当面の方向性とする事で宜しいでしょうか？

（その他、質疑等無くスポーツ施設整備においてスポーツ推進審議会としては資料のとおり当面の方向性を示すことについて承認されました。）

議 長：ありがとうございます。以上をもちまして本日の協議を終えたいと思います。  
本日の議題は全て終了しましたので、進行は事務局お返しします。

事務局：委員皆様よりご審議いただきまして、ありがとうございます。  
以上をもちまして令和5年度第2回釜石市スポーツ推進審議会を閉会させていただきます。  
本日はどうもありがとうございました。

(10) 閉会 19:30 事務局より閉会を宣言。